

取組以前の課題

- 3小学校で手引きを作成していたが、学習の心構えや学習時間、自主学習の例など、内容が盛りだくさんで、かえって分かりにくかった。
- 手引きの内容が3小学校で異なり、中学校への接続がスムーズにできていなかった。
- 「家庭学習の手引き」を参考にしているという児童が全体の51.0%
- 保護者の中でも「家庭学習の手引き」の存在を知らない方がいて、共通理解が不十分だった。

中学校区統一の「家庭学習の手引き」

「自主学習のしかた」作成

家庭学習の手引き

改善のポイント

- ① 内容を「学習するときの約束」「学習する時間」「学習の内容」の3本柱に絞り、簡素化、明確化を図った。
- ② 自主学習については、別途「自主学習のしかた」を作成し、具体的に示すとともに、たえず目にするように自主学習ノートに貼らせるようにする。
- ③ 年度始めの学級懇談会で配付・説明することで、保護者からの理解・協力を得られるようにする。

家庭学習の手引き

瀬戸内市立牛窓西小学校

なまえ
名前

★ 学習するときの約束

- ・学習する場所を決めてする。
 - ・テレビやゲームの電源を消す。
 - ・机の上をきれいにする。
 - ・学習がすんだら、次の日の用意をする。
- (鉛筆を削る、連絡帳と時間割表を見て確認す)

場所の明確化で、学習の習慣づけ

目安とする学習時間を明示

★ 学習する時間（目標）

- ・1～2年生→20分間以上
- ・3～4年生→40分間以上
- ・5～6年生→60分間以上

家庭学習の手引き

瀬戸内市立牛窓中学校

★学習をはじめる前に・・・

- ・テレビや音楽を消す
- ・机の上をきれいにする

★学習する時間（目標）

1・2年生：120分 3年生：180分

★家庭学習ですること

- ・教科の宿題
- ・自主学習（予習・復習、調べ学習など）

★ 学習の内容

- ・宿題
 - ・自主学習（その日の授業の復習や予習、調べ学習など）
- ※「自主学習のしかた」を参考に、自主学習ノートにしましょう。

家庭学習とは、宿題 と 自主学習

色上質紙に印刷、ラミネート加工

この手引きを見えるところに、家庭学習をするときに活用しましょう。

自主学習のしかた

中学校

(自主学習の例)	繰り返し学習	活用的学習
	<ul style="list-style-type: none"> 漢字・英単語・計算練習 意味調べ（国語・英語） その日の授業のノートまとめ ワーク・プリントの間違えた問題直し 過去のテストの直し 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の発展課題 その日の授業で考えたこと、発見したこと、思ったことなどをまとめる。 理科の観察
	など	など

小学校

低学年 自主学習の仕方	
☆「目的」「学習のめあて」「感想」を必ず書きましょう。☆できているに書きましょう。	
Aメニュー	Bメニュー
◎くりかえすことよって 力をつける学習	◎考えたり工夫したりすることよって 力をつける学習
<ul style="list-style-type: none"> 支りつし（教科書など） 音読集め（ひらがな・カタカナ・漢字） 算数練習 算盤（ことわざ・算珠など） 計算練習（ドリル・計算カード） 	<ul style="list-style-type: none"> 読書（本の題名・感想も書く） 日記（心のこもったこと・発見など） 文房具（買った道具をつかって） 食器 英語の字から算盤盤し 算盤の仕組みづくり 算盤（お金の入といっしょにする） 紙かんで調べたことをまとめる。（図・ことば・絵画） 学校で学習したことをまとめて、お家の人に読んでもらう。
・授業の復習や予習 ・テストで間違えたところの復習	

中学年 自主学習の仕方	
☆「目的」「学習のめあて」「感想」を必ず書きましょう。☆できているに書きましょう。	
Aメニュー	Bメニュー
◎くりかえすことよって 力をつける学習	◎考えたり工夫したりすることよって 力をつける学習
<ul style="list-style-type: none"> 読書（教科書など） 意味調べ 算数練習 算盤やことわざ調べ 算盤（社会科や理科の教科書でもよい） 算盤（百人一首・かるた・詩・論議など） ローマ字学習 計算練習（ドリル・教科書） 図形の学習（作図・面積、角の大きさなど） コンパスの使い方 新道標集 	<ul style="list-style-type: none"> 読書（本の題名・感想も書く） 新聞作者の作品も読もう。 日記 新聞スクラップ（感想も書く） 作文（物語・詩など） 算数問題づくり 計算の仕方や規則 生活の中から算盤盤し（長さ・かさ・形など） 興味をもったこと調べ学習（理科・社会など） 学校で学習したことをまとめて、お家の人に読んでもらう。
・授業の復習や予習 ・テストで間違えたところの復習	

高学年 自主学習の仕方	
☆「目的」「学習のめあて」「感想」を必ず書きましょう。☆できているに書きましょう。	
Aメニュー	Bメニュー
◎くりかえすことよって 力をつける学習	◎考えたり工夫したりすることよって 力をつける学習
<ul style="list-style-type: none"> 読書（教科書など） 意味調べ 算数練習 算盤（社会科や理科の教科書でもよい） 算盤（地図・俳句など） 計算練習（ドリル・教科書） 図形の学習（作図・角、立体など） 国語・国算 歴史年表づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 読書（本の題名・感想も書く） 新聞作者の作品も読もう。 日記 新聞スクラップ（感想も書く） 作文（物語・詩など） 算数問題づくり 計算の仕方や規則 生活の中から算盤盤し 調べ学習（社会科・理科など） 読書（どうきんや動物づくり） 読書（歴史から考える） 学校行事のアイデアを考える。 学校で学習したことをまとめる
・授業の復習や予習 ・テストで間違えたところの復習	

自主学習ノートを一人一冊もたせて、最初のページに貼り学習の参考にさせる。

作成のポイント

- ① 小学校では、内容を低学年・中学年・高学年で分け、中学校では、学年の発達段階に合わせた。
- ② 「Aメニュー」→習熟、「Bメニュー」→活用の内容とし、児童の興味関心に合わせて取り組めるようにした。
- ③ 中学校区の同学年部の担任で話し合い、実態に合った内容を示した。

自主学習の充実を図るために・・・

自主学習の充実

興味・関心の高まり

もっと調べてみたい！！

次はどんな自主学習をしようかな。

意欲向上

教師の働きかけ

授業と家庭学習の連動

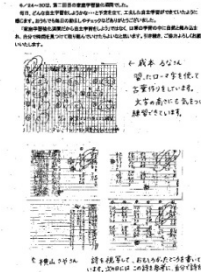


こんな学習もできるね。

教室掲示

学級通信

★力を付ける自主学習★



友達の間組を紹介

ノートにコメント



家庭学習強化週間

目的

- 中学校区で実施時期をそろえた「家庭学習強化週間」により、家庭の協力を得ながら、さらに家庭学習の習慣化を図る。
- 家庭学習（含む自主学習）の計画を学校で教師と共に立てることにより、取組の反省をさせるとともに自分にあった（質・量）自主勉強の仕方を身に付けさせ、学力向上の手助けになるようにする。
- 中学校区で作った「家庭学習の手引き」や「自主学習の仕方」の使い方を定着させ、進んで取り組むことができるようにする。

取組

- ① 1学期に2回，2学期に2回，3学期に1回の年5回とする。
- ② 中学校区で同じ時期に実施する。
- ③ 強化週間は月曜日から日曜日の1週間とする。
- ④ 大きな行事等は避け，落ち着いて取り組める時期にする。
- ⑤ 「家庭学習記録表」を用いて計画および取組の様子を記録する。

実践内容

家庭学習記録表 No. _____ 年 名前 ()

日	宿 家 題	学 習 時 間	テレビ・ゲーム等の時間	保護者印
4/22 (月)		分	分	
4/23 (火)		分	分	
4/24 (水)		分	分	
4/25 (木)		分	分	
4/26 (金)		分	分	
4/27 (土)		分	分	
4/28 (日)		分	分	
週末の総学習時間				
ふり返って				
おうちのりから				
先生から				

4 / 30日 (火) 提出

アウトメディアの一助として

成果と今後の取組

- 保護者の意見は、計画的に家庭学習ができ、これからも継続してほしいという内容が多かった。
- 宿題だけでなく、自分にあった自主学習の計画を立てることにより、意欲的に取り組む児童が増えた。
- 予習や復習をする児童が増えてきた。
- ※ 自主的かつ意欲的に取り組ませるために、授業との関連を図った自主学習、個に応じた学習相談の充実について実践を積み上げてきた。これを中学校区の小学校間で定期的に交流し共有したい。
- また、授業の予習や復習などにつながる内容の自主学習に工夫して取り組めるようにしたい。

教師と相談しながら自分にあった学習

学習時間の可視化

家庭の協力を得て

アウトメディア

取組以前の課題

- ①計画的、主体的な学習が苦手 ②休日の学習時間が短い ③テレビ・ゲームの時間が長い

目的

アウトメディアの取組によって

- ①生活習慣を見直して、家庭学習の時間や読書の時間を生み出す。→ 自律心 計画的取組
②進んで家庭学習や読書に取り組めるようにする。→ 主体的・意欲的取組

取組

- ・ 知的理解（アウトメディアを含めた生活習慣の指導）→ 学級活動，外部講師による講話
- ・ 実践化へのサポート→ 養護教諭と連携

実践内容

- ・ 学級活動 「1時間の価値 ～たかが1時間されど1時間～」
(中学校) 「勉強時間を増やそう ～今までの家庭学習を振り返り，テレビなどの時間を減らそう～」
「学力アップ大作戦 ～家庭学習の質的向上を目指して～」など
- ・ 講話 「携帯電話等に関わる問題」 (講師 環太平洋大学次世代教育学部 筒井愛知先生)
- ・ 養護教諭との連携 「目覚めスッキリ大作戦！」 「アウトメディアについて」

成果と課題

- コースを決めて取り組んでいる小学校では，より高いコースを選ぶ児童が増えてきた。
- 時間を守ることに取り組んでいる小学校では，守っている児童が微増している。守りたいという意識はあるが，行動変容にまで至っていない。
- 中学校ではメディア時間が確実に減っている。
→メディアにふれる時間が2時間未満の生徒2.2倍
- 中学校では家庭学習の時間が確実に増えてきている。
学習時間1時間未満の生徒数は微減(6.5%)だが、3時間以上の生徒が0%から6.7%に、
2時間以上3時間未満の生徒が2.8倍(12.5%から35.6%)に増えた。
- △さまざまな取組により，児童・生徒及び保護者の意識が変容することで，アウトメディアの成果は表れているが，意識を変容させることの困難さがいまだに課題である。

保護者啓発

目的

児童が質的・量的に高まった家庭学習をするために、保護者に対して次の働きかけをして学校の取組を効果的に進める。

- ①啓発活動により理解を深めて協力を得る。 ②保護者の取組意識を高める。

取組

- ①専門の講師による情報提供。→講演会
②学校の方針や児童の様子を知らせる。→学校だより・学年通信
③情報交換の場の設定。→学級懇談

実践内容

講演会

- 子どもの「やる気スイッチ」を入れるには（講師 中国心理診断センター 岡野一泰洋氏）
○児童のつまずきに着目した適切な家庭学習支援について（講師 ベネッセコーポレーション 平田洋子氏）

学校だより・学年通信

- 家庭学習アンケートの結果や家庭学習強化週間の児童の取組、家庭学習の大切さ等について保護者に知らせた。

学級懇談

- アンケート結果や家庭学習の取組の様子について担任が紹介。
○各家庭で工夫しているところや配慮していること、取組の様子等の情報交換を行った。

環境づくり

- 自主学習ノートを教室や廊下に掲示して、よい取組の実際を紹介。保護者だけでなく、児童の取組の参考になっている。

保護者の意識の変化

様々な取組や活動

保護者の
意識の
高まり

家庭学習の定着・習慣化・充実
よい生活習慣の確立
児童の学力向上

取組前や取組直後の意識

- 学校で指導してほしい。 ○強化週間はありがたい

現在の意識

- 自分で計画を立てたり、自主学習の内容を決めたりすることが、少しずつできるように親子で取り組んでいます。
○家庭でもしっかり学習の様子を見ていこうと思います。
○テレビ・ゲームをする時間をきちんと決めてする。勉強時間を増やすように決めていこうと思います。

→ 継続的な見守り・支援



成果と今後の取組

- 保護者との連携により、家庭学習の環境（空間的・時間的環境、人的環境）が整ってきた。
→家庭学習の手引き参考にする児童 8,2%増（小学校）
 - 保護者の意識が高まり、内容の充実に向けての意欲的な考えや取組が増えてきた。
 - 保護者の見守りにより、子どもの学習意欲の高まりと確実な取組みが見られる。
→家庭学習の時間（平日）の各学年の目標を達成できている児童 6%増（小学校）
- ※今後も保護者への啓発活動を積極的に進め、連携して家庭学習の充実やよりよい生活習慣の定着を図りたい。